

世界はどこに向かっているか

新科学・歴史観シリーズ③

激しいグローバルゼーションのもとで、今、人類はどう進むべきかが鋭く問われているといえるであろう。

今回はこの資本主義の世界化の問題点に焦点をあてて考えてみた。するとこの問題には、資本主義そのものをいかに理解するかということも、さらにもともとそれを生んだ人類の文明そのものの問題にもぶち当たることとなった。

さらに、グローバルゼーションを深く考え、それが現瞬間だけの問題でないことを知ると、それが一つの法則的な傾向の問題であり、社会主義、共産主義の成立、消滅にもかかわることが明らかになったのである。

これらについては、大胆に多くの問題にふれたつもりである。

本書は、十勝均整社の講習会での講演用のための要旨として、とり急ぎ、四日間という短時日で、ほとんど見直しもできずに、なぐり書きしたため、不正確な記述が多々あることは否めない。その点は、誠に勝手ながら御了解賜りたい。

本書から何かを得て頂ければ幸甚である。

目次

- 第1章 資本主義とは何か～その本質を知れ
- 第2章 グローバリゼーション(資本主義の世界化)の矛盾と法則
- 第3章 (日本の戦前・戦後) 栄光と挫折その最奥の秘密
- 第4章 グローバリゼーションで生まれて消えた
国家資本主義としての社会主義
- 第5章 自らを守る新しい人間観を！

(十勝均整社刊 A4版 38頁)